

薬剤部の概要

(平成 30 年 7 月)

薬剤技監兼薬剤部長 博士(薬学)

新谷 俊一

薬剤師 9 名

日病薬病院薬学認定薬剤師 2名

認定実務実習指導薬剤師 4名

糖尿病療養指導士(CDEJ) 1名

研修認定薬剤師 2名

薬剤部の職員募集と 業務見学について

このページの最後に案内があります

薬剤部では、患者さんが安全・安心してお薬を使用していただけるように、院内の医療スタッフや保険薬局の薬剤師と連携しながら業務を行っています。

主な業務紹介

★ 調剤

入院患者さん、救急患者さんのお薬(内服薬、外用薬、注射薬)を、用法用量や飲み合わせなどをチェックしながら、注意深く調剤しています。



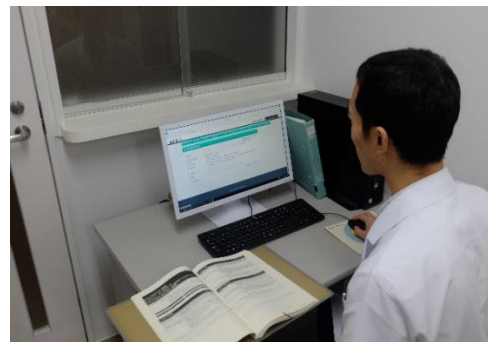
★ 注射薬の調製

無菌調製が必要な注射薬はクリーンベンチ内で調製しています。また、抗がん剤の投与量や投与方法などをチェックしながら、安全キャビネット内で調製しています。



★ 医薬品情報

医薬品を適正に使用するために、医薬品の多様な情報を収集し、薬剤師、医師、看護師などの医療スタッフに提供しています。



★ 病棟薬剤業務

入院患者さんのところへ行って、薬の飲み方、効きめなどの説明を行うことや、お薬に関する相談にのっています。

患者さんへ適切な薬物療法を行うため、全病棟に薬剤師を配置して、医療スタッフとの円滑な連携を行っています。今後、さらなる病棟薬剤業務の拡充を目指しています。



★ 外来患者さんへの薬剤指導

エンザルタミド、リュープロレリン酢酸塩注などの前立腺がんを使用する薬剤やその他の内服抗がん剤、ソラフェニブ、インフリキシマブ、ゴリムマブなどの免疫抑制作用のある薬剤、インスリン製剤、テリパラチドの自己注射する薬剤などの適正な使用管理のため導入時に説明指導しています。その後、調剤薬局の継続的な指導管理につなげています。

★ 保険薬局との連携

病院と保険薬局との間で継続的な薬物療法の実施を支援するため、平成19年より「施設間情報連絡書」を用いて、保険薬局への情報提供を開始しました。また、外来で抗がん剤治療を受けている患者さんには、使用した注射薬や治療スケジュール、検査値などをお薬手帳に記載し、情報提供を行っています。



★ チーム医療への参加

当院では、多職種で組織される以下の医療チームの一員として、薬剤師の専門性を活かしています。

- ・ 栄養サポートチーム（NST）
- ・ 感染対策チーム（ICT）
- ・ 緩和ケアチーム
- ・ 褥瘡対策チーム
- ・ 摂食嚥下チーム

★ 医薬品管理

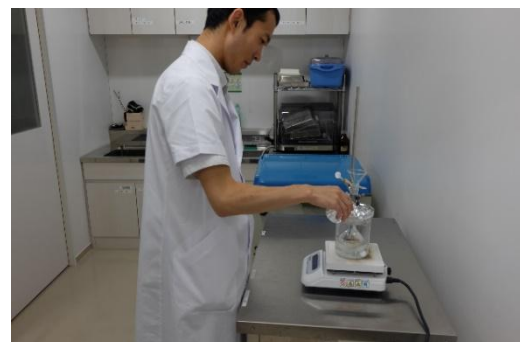
院内の医薬品を適切に管理するために、以下の業務を行っています。

- ・ 適正在庫の確保を考慮した医薬品の購入
- ・ 毒薬・麻薬・向精神薬の管理
- ・ 保管環境や使用期限、在庫のチェック



★ 院内製剤

多様な病態に最適な薬物療法を行うためには市販されている薬のみでは対応できないことがあります。そのような薬剤を院内の取り決めに基づいて製剤しています。



主な業務実績(平成 29 年度)

- ・ 外来処方箋枚数 : 3,575 枚/月(院外処方箋発行率 95.3%), 入院処方箋枚数 : 2,070 枚/月
- ・ 注射箋枚数 : 3,980 枚/月
- ・ 薬剤管理指導患者数 : 278 人/月
- ・ 無菌調製処理件数 中心静脈栄養 : 35 件/月, 抗がん剤 : 62 件/月

薬剤部の職員募集と業務見学について

○職員募集

随時、職員を募集しております。

原則、平成 31 年 4 月 1 日採用予定となっておりますが、薬剤師免許取得済みの方は中途採用(正職員・臨時職員・非常勤 職員など要相談)も可能です。つきましては、下呂温泉病院ホームページに募集要項が掲載されておりますのでご確認ください。

○業務見学

薬剤部の業務見学を随時受け付けております。当薬剤部に興味を持たれた方は、下記までお申し込みください。

- ・見学対象者:薬学生又は薬剤師免許をお持ちの方
- ・見学の日時:平日10:00~16:00の間で2時間程度
- ・申し込み方法:E-MAILにて住所、氏名、連絡先(TEL・E-MAIL)、大学名、学年(既卒者は卒業年)
- ・申し込み先:下呂温泉病院 薬剤部長 新谷
電話 0576-23-2222(内線 2600)
〒509-2292 岐阜県下呂市森 2211
病院代表 E-mail: info@gero-hp.jp